

鳥取県中部地震 対策本部ニュース

vol.③

発行元：鳥取医療生協・鳥取民医連
中部地震合同対策本部
連絡先：0857-24-6161

23日13時現在
被害・避難状況

◆人的被害 17人（重傷3、軽傷14）

◆住民避難 626人、

◆住宅被害 346棟（全壊3、半壊2、一部破損341）

◆公共土木施設被害 42カ所

県連会長 歯科Cr所長 中田先生現地訪問！

地震発生4日目の24日（月）、中田鳥取民医連会長が倉吉入りしました。倉吉市災害対策本部、倉吉保健所所長、中部医師会、中部歯科医師会、倉吉市災害ボランティアセンターなどを訪問。震災発生後の3日間の鳥取民医連・医療生協の取り組み内容を「災害対策本部ニュース」なども使って報告し、全国支援を検討していることなども伝え、「協力できることがあれば」と申し入れも行いました。保健所所長からは、「医療機関はごく一部を除き、医科・歯科ともほぼ問題なく診療を開始している。避難所も縮小傾向で今週末で閉鎖を検討しているところもある。今後とも協力はお願いしたい。」とのこと。歯科診療所では2つの診療所が診療できない状態、歯科医師会館も建物に被害を受けている状態などもわかりました。災害ボランティアセンターからは、「他県のボランティアへは住民の警戒感が強く、地元の人との組み合わせも難しく、生協の組合員訪問はありがたい」との言葉をいただきました。

鳥取医療生協緊急理事会開催!! 現地対策本部設置など当面の方針を決定!

医療生協理事会では、緊急臨時理事会を開催し、当面する方針を確認。鳥取民医連と協力して、全国支援の要請、現地組合員安否確認、ボランティアの募集と派遣などの方針と対策本部体制を確立しました。当面する緊急活動方針を協議し、理事・職員・組合員の力で災害支援を行うことを確認しました。

鳥取医療生協の当面の行動提起

- ①3000組合員への安否確認電話かけ
- ②夕方以降の「避難所健康相談行動」
- ③ボランティア隊の募集・派遣
- ④週末の集中行動（今週・来週・文化の日）
とそこに向けた組合員宅地図落とし作業
- ⑤全国への支援の要請
- ⑥鳥取と現地の対策本部設置

11/3（祝木）、5（土）、6（日）です。※対策本部体制は以下の通りです。

◎本部長 林専務 ○副本部長 池成副組合長、西村理事

◆事務局長 永原室長 ◇事務局次長 渡邊県連事務局長、桑原部長、井上課長、米田副部長 □事務局員 田中温課長、竹中課長、組織部員

※現地対策本部を設置します。

当面、現地に常駐対策本部を設置します。

責任者は◎米田副部長、竹中課長、最上組織部員の3名です。

10/24～11/6の二週間を集中行動期間とし、25日から行動参加を各事業所に要請します。エントリー用紙を配布しますので、積極的参加をお願いします。

全国への支援要請も決定!

また、週末の集中行動に向け、全日本民医連と日本医療福祉生協連に全国支援を要請することが確認されました。現地での訪問行動・ボランティア派遣の集中日は、10/29（土）、30（日）、



▲竹中課長の達筆で掲げられた看板